

宇都宮市立平石北小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
めあての設定と振り返る場の設定	授業で目標を示したり、授業の最後に振り返りの時間を設けたりする。	「自分から進んで勉強している。」という質問の肯定的回答の割合は、1年生が97.4%、2年生が73.3%、3年生が89.7%、4年生が88.9%、5年生が86.1%、6年生が78.8%であった。学年によって差が見られるが、目標の提示によって見通しをもち、振り返りの活動で次の時間への意欲をもって、授業に取り組んでいるといえる。
言語活動の充実	自分の考えを発表したり、友達の考えに触れたりして、互いに練り合い高め合う場を設定する。	「グループなどの話し合いに(自分から)進んで参加している。」という質問に対する肯定的回答の割合は、1年生が92.1%、2年生が80.0%、3年生が86.2%、4年生が80.6%、5年生が86.1%、6年生が78.8%でほとんどの学年で市の平均を上回った。 「自分の考えを、理由(根拠)をあげながら話している。」という質問(3年生以上)に対する肯定的回答の割合は、3年生で75.9%、4年生で63.9%、5年生で55.6%、6年生で57.6%であり、上学年で市の平均を下回った。 話し合い活動に自分から進んで参加しているが、理由や根拠をあげて話すことには、自信がもてない児童が見られる。理由や根拠を明らかにして話し合う機会を設け、自信がもてるよう指導していきたい。
学校図書館教育の推進	図書館利用指導計画のもと、授業中の図書室の活用を推進する。また、読書タイムや読書週間の充実を図り、司書や読み聞かせボランティアとの連携を図る。	「いろいろな本を読むことは楽しい。」という質問に対する肯定的回答の割合は、1年生が94.7%、2年生が93.3%、3年生が96.6%、4年生が86.1%、5年生が77.8%、6年生が81.8%で下学年で市の平均をやや上回り、上学年で、市の平均をやや下回る結果だった。 家での過ごし方を聞いた項目で、「本や新聞を読んでいますか。」という質問に対する肯定的回答の割合は、1年生で86.8%、2年生で76.7%、3年生で75.9%、4年生で75.0%、5年生で52.8%、6年生で81.8%であり、学年によって差が見られた。 図書館利用指導計画のもと、図書資料を活用して学習を進めたり、読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、や「家読」の取り組みなどにより、いろいろな種類の本を読むことが楽しいと感じる気持ちが育ったと考えられる。また、家で本や新聞を読む機会に差があることから、家でも本や新聞を読むきっかけを作っていきたい。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

調査の結果から、話し合い活動に自分から進んで参加しているが、理由や根拠をあげて話すことには、自信がもてない児童が見られることが分かった。理由や根拠を明らかにして話し合う機会を設け、互いに学び合い高め合える話し合いとなるよう支援していきたい。また、理由や根拠を明らかにするためには自分の考えを整理する必要があることから自分の考えを書く活動にも、引き続き力を入れていきたい。